

刊夕日一十三月五

常新日每警常

定價 一部全紙 一月五拾銭 郵費五銭
 廣告料 五號十二字 行金五拾銭
 日曜 祭日の翌日休刊
 發行所 常新日每警常
 印刷所 常新日每警常
 電話 六三〇番

子供の顔

それく

人相観は動かぬ顔で見ると、醫學には動く顔の方が役に立つ。彼は非情の顔。これは有情の顔。

火難水難さては剣難女難 貧相福相「フレノロジ」では四十二相。顔見ただけで過去現在未來の吉凶が判る術は世間うるさい程ある。それはそこらの人相観の大先生に任せて置きたい。と云つた顔なんか見たつて當てになるものかと輕蔑するわけでは更らないが物は觀よう、庖丁は使ひよう、そつと我田に水を拜借して題して「子供の顔観に

ノート

四つの氣品高い植物、即ち

蘭、梅、竹、菊を四君子と呼ぶ。文人畫の初步には之が畫題に選ばれるのが通例。

就いてと云つたまでの事。

子供の寢息、泣き聲、笑ひ顔、眼つき何一つ子供の心持ち、苦樂、意思表示で

ないものはないと云へば云へる。赤兒は物を言はないから判らないと云ふ人もある。何の判らない事があるものか、「いかんか是れ佛」「曰く庭前の栢樹子」でもう事濟みとなる禪家の問答さへある。況してや眼前に展開した赤裸々の光景を一瞥すれば、すべてこれ明らか。といつたのでは獨り

- ★000000000000
- 明日の献立○
- ◎000000000000★
- 【朝】味噌汁・新ジャガ芋 小付 牛肉佃煮
- 【晝】櫻海老 卯の花いり
- 【晚】ポークカツレツ 野菜サラダ

よがりと叱られさうです。噛んでふくめる必要も勿論ある。さア御母様方、じつと御子様のお顔を御覽なさい。

×

痛さうな顔。どこかに痛みのあるか。醫學畑ではないと疹痛性顔貌と呼ぶか。赤ん坊ではこれが一番大切。ハテな此子はどこかに痛みのあるのではないかと氣をつけてやる。痛いとしたらどこが痛いんだらう？これに眼を開けて額に皺を寄せて泣くのと、眼を閉ぢてうなり泣きをするのと二た通りある。其泣くに

五月武者人形 大賣出し

御座敷職、布鯉、鎧、兜 諸道具類一式

例年の通り豊富陳列致しました。是非御一覽之程御待ち願ひます。値段は特に勉強いたします。但珍物として勿來關人形、

平町三丁目東通

叶・加藤商店

氷水界ノ先進者 流線ケーキ

今回時代ノ要求ニ應ジ右ノ飲食物ヲ初メマシタ。御利用ハ御客様御來訪ノ折ノ御茶代用ニ、旅館、料理店様ノ御座敷用御茶ガワリニ、御子様方ノオヤツガワリニ色々御利用出來マス。何卒御試食下サイ。

平ニ警察署員通り

魚清食堂

電話五六三三

頭重て不快の方

何となく

フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)

青葉にむせぶ行樂は...

絶對他に誇る幾多の經驗コース 定評ある旅行者の良きガイド

先づプランを御相談せう...

不二タクシー

東京鐵道局公認 電話三二番

自轉車は左記

有名車を御撰擇下さい 世界的ニ進出セル

- ◎宮田ノ自轉車 夙ニ堅牢輕快ノ定評アル
- ◎ゼブラノ自轉車 實用經濟車トシテ好評アル
- ◎マーツ自轉車

◎マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ偽物を販賣なし商權を侵害なしつゝある者あり法的解決により御得意様の御了解を得ん

宮田代理店 エビスヤ商店
 ゼブラ代理店
 マーツ代理店
 電話 六六四

電話新設

電話五六一番

太陽生命保險株式會社

石城郡平町仲町六番地 磐城支部長 長瀬 卯太
 本社 東京市日本橋區江戸橋二丁目八 支社 仙臺市南町 六十

辨當を腰に

自轉車飛して

毎日農業の實地視察

石城郡農會の實地視察指導研究會は本縣の佐々木實業教員主事をリーダーとして農業専任教員農業科擔任教員等五十餘名が辨當持參の自轉車隊を組織し郡内を左の日程で視察するが一行は一日の視察を終へて毎日

農林省の工場を

四倉に誘致運動

四倉町では農林省が近く本縣沿岸に水産共同作業場を設置し水産加工品製造とその研究を行ふ計劃で敷地を選定中である爲め是が誘致の猛運動を行ふべく新妻町長、漁業組合長等が近く上京すると

陸軍簡閱點呼の

郡下日割が決定

郡下各町村の本年度陸軍簡閱點呼は福島聯隊區司令部の手に依つて八月十三日三坂村を振り出しに植田町の廿九日を最後として行はれるが各町村日割左の如くである

(八月十三日)下三坂 三坂澤渡(十四日)川前(十五日)下小川 赤井 上小川(十六日)平(十七日)上遠野

日(平) 神谷 平窪(十八日)飯野 高久 夏井 飯野 鹿島(十九日)江名 江名 豊間(廿一日)小名濱 小名濱 玉川(廿二日)泉 泉 渡邊(廿三日)湯本 湯本 磐崎(廿四日)内郷(廿五日)好間 永戸 箕輪(同日)四倉 四倉 久之濱 大久(廿六日)上遠野 上入遠

野(同日)大浦 大浦 草野 大野(廿七日)田人 貝宿 田人 荷踏夫 石住(廿八日)勿來 勿來 川部 錦(廿九日)植田 山田 植田

四年越しの中風症

全治せぬのを悲觀

老婆愛谷江に投身自殺

平町新川町佐藤義清の實母ナツ(六)さんは四年越しの中風症が全治せぬのを悲觀して本州一日朝自宅裏愛谷江筋に飛び込み自殺し溺死体となつて浮んだのを発見された

虐待の訴へ

魂膽がバレて 大眼玉を食ふ

少年教護 委員決定 郡内に九氏 不良少年感化の爲め昨年十月より實施された少年教護法に基く郡下の少年教護委員は今回左記九氏に決定した

肥料の九割

組合が扱ふ

玉川信用組合は同村農家で使用する田施用肥料一萬圓のうち約九千圓を取扱ひ市價よりも一割安なのでその供給を仰ぐ者が激増し同組合で昨年中取扱つた肥料は

赤津千里 中村清治 遠藤心光(植田)鈴木佐忠 長瀬米次(四倉)菊地正一 花澤賢有

幼兒を轢く 瀕死の重傷 内郷村大字綴字秋山薄葉自動車店運轉手石山七郎(三)は助手吉田三郎(二)と共に乗合自動車を運轉して昨廿日午前十一時頃同村小島字新町地内國道を疾走中同字按摩業元次の長男永山素平(六)が自宅より飛出したの

平町 人事 結婚 平町 人事 結婚

市原醫院 平町・田 電話一四番

店主が店員を連れて行かれます 正シイ食堂 正シイ喫茶 正シイ酒場

東	中	先	大
一期	二期	三期	四期
五期	六期	七期	八期
九期	十期	十一期	十二期

東京短期(前場)	寄付	大引	高値	安値
新東	一四三	一四三	一四三	一四三
大新	一四三	一四三	一四三	一四三
新東	一四三	一四三	一四三	一四三

爆發の震動で

坑道崩壊す

原工學士外五十餘名遭難

救助隊員必死坑道に突入

慘たり入山第六坑

湯本町入山炭礦第六坑内の坑口を去る一里の地点、(北第二電右一、地下一千二百尺)の個所で昨昨日午後三時頃大音響と共にガス爆發し採炭監督中の技師工學士原義雄(三)職員遠藤尾治(三)兩氏外坑夫五十餘名が生死不明となつたので鑛業所では吉田所長指揮のもとに決死の救助隊を組織し防毒マスクを使つて入坑

應急の處置を施し五時頃坑道内に折重つて窒息死體となつて居た

關根新二、佐藤文四郎、佐々木鐵次郎、高久泰吉、小森末松

等を引揚げ更に二十分を経過して坑道に虫の息となつて居る

及川巧、引地進、穴澤芳雄、峰谷新之助

の生存者を救出し炭鑛病院に收容したが此の間救助隊員中にもガスの中毒を受け人事不省に陥る等の犠牲者を出し辛うじて通風機の開通を見た結果作業大いに進み

緑川庄之助、小澤仁、齊藤愛丸、菅原富藏、道中内清外三十二名

の悲惨なる死體を引揚げたが不幸爆發箇所の最深部は

ぎ坑道を閉鎖された爲め作業は一頓座を來し最深部にあつた坑夫數名の當日引揚は不能となり遂に陰惨な一夜を明してけふを迎へ引續き必死の作業を繼續して居る

爆薬の残り

是れが原因か

鑛山監督局技師急行

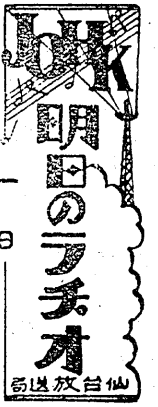
調査に苦心

慘事を惹起した入坑山のガス爆發原因に就いては今朝急行し來つた仙臺鑛山監督局多田、平塚兩技師指揮のもとに苦心調査中であるが未だ判明せず坑夫間では炭鑛は七年前七十餘名の犠牲者を出した大爆發に次ぐ大被害を蒙つた

疲労のドン底に

吉田所長は語る

慰める爲め本州一日は全山休業し明日から従前通り就業の豫定で炭鑛側は罹災者の收容と今後遺族の慰安方法に萬全を期さんと本社より急行し來つた渡邊專務



明日の天気
今朝 東の風曇り晴曇
午後 半す

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 管絃樂 東京オーケストラ
- 後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「科學界のトビック」永井潜
- 後八、〇〇 大衆演藝の夕イ漫才「ハイキング日記」千歳家今男、ロ落語「子褒め」林家正藏、ハ歌謡曲「丸山和歌子」浪花節「雪の戸田川」東家樂遊
- 後九、五五 日本棋院春季東西手合戦績
- 後九、三〇 時報 ニュー

を迎えて種々對策に腐心して居る右に就いて吉田所長は綿の如く疲勞し切つた體軀を杖にもたらし語る

悲愁漲る全山を

畠田警察部長が視察

渡邊專務救助に采配

慘憺たる光景

事件勃發と同時に入坑者の家族並に同僚達は鑛業所に殺倒し刻々の情報に一喜一憂安否を氣遣ふ悲痛な叫びが全山に溢れ全く不安状態に陥つたので平署からは柴田署長外十餘名の警官隊が出張警戒に當り縣警察部より小野寺警部補、笹原部

全身乳色に爛れ

屍体に漂ふ苦闘の色

爆發當時在坑者氏名

不幸坑内作業中犠牲となつた原技師外五十餘名の入坑

明日の部

- 前六、三〇 基礎ドイツ語講座 武内大造
- 前七、〇〇 朝の修養「修證義の成立と其大要」岡田官法
- 前八、〇〇 家庭講座「船の特殊料理」伊藤勘兵衛
- 後八、〇〇 五歌謡曲 美ち奴
- 後一、〇〇 東京大學野球リーグ(明立、早帝戦) 神宮球場より中継
- 後二、〇〇 母の時間「玩具の與へ方」氏家壽子
- 後六、〇〇 子供の時間「子供の科學講座」獨樂から生れた兄弟「中村貴義
- 後六、二五 講演「選舉の肅正に就て」大森桂一
- 後七、三〇 琵琶「船辨慶」大飼錦棋
- 後八、〇五 二人漫談「花緯の寢言」杉浦エノスケ
- 横山エンタツ
- 後八、二五 講演「長兵衛と櫻川」神田伯治
- 後九、〇〇 時事解説 目崎憲司

される模様であるが生存者として救助された四名は未だ生死の境を彷徨しつゝあつて到底生命覺束なしと見られた既に窒息の上搬出された者は全身牛乳色に爛れて悲慘な苦闘の色を漂して居ると尚爆發當時の入坑者氏名左の如くである

- 神田注 佐藤繁雄 原義夫 遠藤尾治 須賀與太郎 吉田忠彌 熊本清 齊藤巧 宮崎修作 山口一雄 阿部恒雄 伊達市治郎 松本竹雄 長谷川
- 嘉重 齋藤覺丸 野木榮 巽見田司 根本勝間 長山與四郎 松本定藏 江川行夫 小野豊吉 常又留藏 深野善一 及川巧 紺野勘七 志田義見 武田小三郎 中井茂 矢内龜治 志田藤次 遠藤庄次 小林仁 小森末松 關根銀治 高橋久 佐々木長治郎 高橋義雄 八谷新三郎 引地進 佐藤義見 關藤吉 清野西藏 佐々木喜太藏 佐藤文四郎 小田留吉

坑外に

椿事の第一聲

重傷の勇者逝く

搬出屍体は四十三個

本日午後二時迄に屍體搬出されたるは四十三個に及び尙殘る五個の捜査收容に努めて居るが重傷の儘昨夜炭鑛病院に收容手當中の坑内常員小林純(三)は今朝遂に



明治太平記

(作) 寺島樞史
(監) 野口 雄

第三百三十七回

情 艶 (四)

「さア、どう遊ばして？」
「うむ、男なら……おれを
たばかつた男なら、此場で
真つ二つに引裂いてくれる
わ」
「たゞ、それだけのこと？」
「なに？」
「たつた、それだけの話？」
「……」
「文字に刷かれた、切れ
の長い眼が、うすらに開い
た。おふくは、情艶の瞳を
輝かして江藤をぐいと凝視
したむざ／＼と、殺される
氣か」
「はい、むざ／＼と、あな
たもあたし如きを殺して、
汚名を世間にさらしなさい
ますか」
「なに？」
「あたしア、男ですよ。し
かも性の悪い男ですよ。し
葉つきまでが、生れながら
の女をつくりですけど、真
實、あなたの仰しやる通り
男ですよ。ですけどこんな
やくざな男を殺しあ、江藤
さま、あなたは名前にし
みがつきませんか」

「江藤とも云はれる偉い方
が、女に化けた男に戀慕し
て、それをまた料亭の奥座
敷で殺したとあつては、飛
んだ恥さらしぢやなくつて
？」
おふくは、しどけなく身
を投げ出した儘、起き直ら
うともしない」



おのれのその黒髪は、かつ
らか
「い、え、かつらなぞ……
立派に、あたしの髪の毛で
すわ」
身を投げ出したまゝ、お
ふくは、男は、あてやかに
笑つて見せた。もう、恐れ
ては居なかつた。
「おのれは、何で女に化け
たのぢや」
「化けやしませんわ。これ
があたしの生地なんですも
の……」
「生れながら、女の姿をし
て居つたのかおのれは」
「幼い時は、女でしたわ。
だん／＼になつて來たので

江藤は、この男とも女と
もつかぬ、奇怪な人間を、
じつと凝視したが、横から
見ても縦から眺めても、女
に成切つて居る男に、まだ
幾分の不思議な愛着をすら
感じた。
「こりや、おふく、いや男
すけど、やつぱり女で居た
方が、嬉しい事が多うござ
いますものオホ、」
「奇態な奴だ。その言葉つ
き、その笑ひ、あくまで女
だのう」
江藤は、あきれ顔で、お
ふくとよぶこの小貴婦人姿

の男に見入つた。
「江藤さま」
奇態な男は、媚のある眼
で、江藤を見た。
「なんだ」
「そんな、きつい眼をなさ
らずと、もともと／＼通り、
可愛がつて下さいまし」
「おふく、いやさ男」
「はい」
「おのれは、この江藤に取
入つて、何がたいそれた事
をたくらんで居るのだな」
「まア」
「吾輩を籠絡して、いや、
我輩の手引でもつて當路の
大官に近づき、よからぬ事
をしよう云ふのだらう。
ホテル館で、はじめて會ふ
時から、妙にぢやら／＼
して、おれにぢやれつき居
つたが、さては、その手だ
な」
「滅相な」
「なにが滅相な事があるも
のか。さア、おのれ、眞直
に申立てろ、泥を吐け」
江藤は、女が男かわから
ぬ奇態な人間をはたと睨み
つけた。
「……」
おふくの顔から、紅唇か
ら、媚笑は消えて行つた。

電話395番

貨切の御用命は！
是非セリザワ
タクシーへ！
御願ひ致します

新車御披露
素晴らしい乗心地の!!!
三十五年式流線型新車が
参りました
是非御試乗御利用の程を御願申し
ます
平二
三井タクシー
電話六八五番

内科

川井内科診療所
川井 安子

樽詰の生ビール

容量比較	
生ジョッキ	四合入 金四十五銭
キリン瓶詰	三合五勺入 金五十銭

平會館

電624

宗正らひた

美味!
芳醇!

山崎合名會社
電話一〇番

体温計の検査日です

10日 検査新
お宅の体温計は?

◎確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人
西村屋藥局
平二 電三番